

会議の開催結果

1 会議名	平成20年度第1回見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク運営会議及び運営部会
2 開催日時	平成19年5月28日(水) 14:45~16:50
3 開催場所	浦和駅東口 Comunale 浦和コミュニティセンター10階第13集会室
4 出席者名	別添のとおり
5 議題及び公開・非公開の別	報告 1) 見沼たんぼのホームページ登録変更届出について 議題 1) ホームページ新規団体登録について 2) 「見沼田圃の散歩みち」追加コースの検討について 3) 見沼たんぼ写真コンクールの審査について 4) その他 発表 見沼たんぼのホームページ登録団体活動報告 ・ 大宮河川愛護会 ・ NPO法人 カンゾウを育てる会 公開・非公開の別 公開
6 非公開の理由	
7 傍聴人の数	0名
8 審議内容	別添のとおり
9 その他	なし

見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク
平成20年度第1回運営会議出席者名簿

平成20年5月28日(水)

見沼たんぼ・さいたま市 &市民ネットワーク会員	大宮河川愛護会会長	藤木 茂 三浦 達雄(代理人)
	NPO 法人 カンゾウを育てる会代表理事	室 和成(代理人) 小出 敬(代理人)
	さいたましみどり愛護会会長	船越 健夫(代理人)
	NPO 法人 自然観察さいたまフレンド代表理事	小野 達二(欠席)
	日本野鳥の会 埼玉県支部支部長	藤掛 保司
	NPO 法人 水のフォーラム理事長	藤原 悌子
	見沼市民フォーラム会長	菊池 元希(代理人)
	見沼たんぼ保全市民連絡会代表	村上 明夫
	見沼ファーム21代表	島田 由美子 高橋 いずみ
	見沼ふれあい散歩の会会長	榎田 和男
	見沼ホテル保存会会長	福本 美敬
	見沼福祉農園推進協議会代表	猪瀬 良一
	浦和西高斜面林友の会代表	中村 克己
	NPO 法人 地域人ネットワーク代表理事	岩井 正三
	芝川の自然を守る会会長	千原 徹也
	見沼の自然と環境を守る会会長	中信 光明
グランドワーク in 芝川	梶間 幹一郎 加倉井 範子(代理人)	

【事務局】 さいたま市 みどり推進課	課長	奥 豪夫
	係長	秋谷 陽一
	主査	山田 豊
	技師	齊藤 洋人
	主事	木村 博幸

平成20年度 第1回 見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク 運営会議概要

日時：平成20年5月28日（水） 14：45～16：50

場所：浦和駅東口 Comunale 浦和コミュニティセンター10階第13集会室

1. 開会

- ① 配布資料の確認（資料1～4、発表資料1～2）。

2. 報告

1) 見沼たんぼのホームページ登録変更届出について

(1) 説明（事務局）

- ① 資料1のとおり報告。

(2) 質疑

- ① 正式には代表でなく理事長となる。（島田）
→訂正させていただく。（事務局）



運営会議風景

3. 議事

1) ホームページ新規団体登録について

(1) 説明（事務局）

- ① グランドワーク in 芝川（代表者 梶間幹一郎）から登録申請があった旨を説明（事務局）
- ② 梶間幹一郎代表から自己紹介及び団体紹介。（梶間）

(2) 質疑

- ① 特になし。

(3) 結果

- ① 運営会議として市長が登録の承認をすることについて「意見なし」とする。

2) 「見沼田圃の散歩みち」追加コースの検討について

(1) 説明（事務局）

- ① 既存の4コースで抜けている部分について、コースを追加し補う旨を説明。
- ② 新規2コース案、既設コースの修正について説明。
- ③ 「芝川土手と斜面林コース」の二本松が河川改修計画の関係で伐採されたため、修正する。
- ④ 「農と見沼代用水の原風景コース」は、七里総合公園を含めるように修正する。

(2) 質疑

- ① 「鉄道博物館と盆栽村コース」について、鉄道博物館から1.3kmはバス通りでもあり、散歩みちには相応しくない。市民の皆さんが見沼たんぼを歩くというつもりできて、危険なバス通りを歩くのはおかしい。鉄道博物館を起点にするということはあるとしても、博物館を観るには何時間もかかるので、見沼たんぼを同日に見るのは無理である。見沼たんぼと鉄道博物館は特性や魅力が違う。大宮公園をスタートとして、氷川神社と見沼とのつながりを紹介するコースとした方が良い。（島田）

- ② 「鉄道博物館と盆栽村コース」を歩いたが、大宮駅の西口からスタートすれば、鉄道博物館までにD51が置いてあったりパネルが展示されていたりする。鉄道博物館の中は見られないコースだと思うので、大宮駅をスタートにする方がよい。(藤掛)
- ③ 最後の東大宮駅の近くに樹齢600年の砂の大ケヤキがあるので、ぜひ見た方がよい。(藤掛)
- ④ さいたま市の見所地図であれば鉄道博物館は挙げなければならないが、見沼たんぼといった場合には、鉄道博物館は唐突である。大宮公園は見沼と歴史的につながりがあるので、スタートにするならば大宮公園駅の方が良い。検討していただきたい。(村上)
- ⑤ 氷川参道から行くと気持ちがよい。地図に鉄道博物館が示されているのは良いと思うが、コースには入ってなくても良い。歩く人が選べば良い。(猪瀬)
- 委員及び会長から頂いた意見のとおりである。新しい施設をコースに組み込みたいということと平成17年の散歩みちの検討で、東大宮操車場が見所となっていたので、鉄道と見沼をつないだが、ご意見を頂いたとおり、見沼たんぼに重きを置いて、鉄道博物館、プラザノースは施設として載せる方向で、ワークショップで説明したい。(事務局)
- ⑥ やむを得ないこととは思いますが、「芝川土手と斜面林コース」変更の理由が、2本の松が切られてしまったということであるのは、とても残念である。河川改修計画のためということではあるのだろうが、見沼の景観を大事にしていくためには河川との一体感も大切である。こういうことで見沼の景観が変わって行くのは残念である。(島田)
- ⑦ 松が2本切られた際には、県からさいたま市の河川課などに相談はあったのか。
- 相談はなかった。(事務局)
- ⑧ ここは小野委員が水質調査等を行っているところである。下流では里親制度などを行っている区間では、1本でも木を切る場合には必ず連絡が来る。さいたま市でこのように位置づけている木を無断で切るということは考えられない。今後もあることなので、見沼たんぼ市民ネットで監視する必要もあると思う。(藤木)
- いきさつを説明すると、一級河川であり、埼玉県が管理している。工事のためか、管理のためかは分からないが、マップにあった木を切ってしまった。私どものほうにも、そのような話は一切無かった。さいたま市にも河川管理があるが、情報によるとそういう話は聞いていないということであった。市として県の河川に再度確認し、市民の皆様方から強い意見があったことを伝えるようにする。(事務局)
- ⑨ 私は見沼区の間で、ここは良く通るが、極めてさみしい状態になってしまった。あの辺りの人は見返りの松と言っていたが、枝振りも良く、非常によい景観だった。たとえ河川上の問題があるにしてもどういうセンスで切ったのか分からない。普通の人であれば切りづらい。いつも見ていたので非常にさみしい。市の方にクレームが来ているのではないか。(岩井)
- 電話で苦情が来ている。(事務局)
- ⑩ 信じられないことである。そこに埼玉川の国というパネルがあって知事を先頭に川を良くして行こうと、埼玉県は日本一であると言っているが、知事の下にある河川課が、生えている松が管理上問題があるから、全然住民や当該市と相談しないで切ってしまうということで、川の国といえるのか。県に話を聞いた際には、芝川の木は切りたいが、景観上の問題と生態系の問題から団体の意見のあるところについては配慮しているということだったが、どこにも相談しないで切ってしまうというのは信じがたいことである。(村上)
- ⑪ 山口橋の所にもミズヤナギの大木があり、水面に映って良い景観になっていたが、これも切られてしまった。(中村)
- ⑫ 三室の芝川の木は残してくれた。そういう配慮をいただいているところもある。(藤掛)

→みどり推進課では複数の方から苦情を頂いて、埼玉県の事業なのでそちらへ問い合わせさせていただくよう対応していたが、今日みなさまからご意見を頂いたので、県には再度話をする。(事務局)

⑬ マップづくりをしたおかげでこういう話ができた。私たちの所にも良いハンノキがある。そういうことは皆さんが知っているのだから、それが行政の治水政策とどうマッチングするのかを話したい。(猪瀬)

⑭ 行政は地球温暖化の防止において樹木や森林は大切であるとは一方では言っているのだから、行政が率先して大きな木を切るということは信じられない。(中村)

⑮ 今現在、残してもらいたい木を示しておくことは、これからでも遅くない。この会だけでも意識付けしておいて、ここをやる時には相談してくださいというようにはできないか。(榎田)

⑯ マップづくりでもそういった木をプロットして、歩いてもらう場合にもそういう問題意識をもってもらうことができるのではないか。単なる観光案内みたいなものでは意味がない。(猪瀬)

⑰ なぜ切ってしまったのかを聞きたい。その理由次第では、これから100年後のことを考えてまた植えても良い。(藤原)

→埼玉県に確認し、次回の運営会議かあるいはメール・電話で皆様に報告する。(事務局)

⑱ 芝川の管理は県であるから、さいたま市には連絡がなかったというのは腑に落ちない。見沼の保全とか景観を考えれば、もう少し連絡を取るとかいうことがあっても良いのではないか。行政間の連携がどうなっているのか、それも含めてきちんと質問したい。(島田)

⑲ 散歩マップのことでここまで話が深まったので、自分たちの環境を見て考えてもらうような散歩コースとして考えていただきたい。(猪瀬)

⑳ 先ほどの鉄道博物館は確かに突然であるが、東大宮から出発すれば、東大宮操車場という空間が見沼にあって、そこから鉄道のまちの大宮には鉄道博物館があるという付け足しのようなかたちであれば、載せても良いのではないか。(藤原)

㉑ 「新都心と合併記念見沼公園コース」も歩いてみたが、非常に良いコースだった。スタートの所にはレンガ造りの非常に立派な高台橋があるが、市か県が施錠をしておき、中に入ってみることができない。散歩で歩く場合には、市の方に連絡して開けてもらい見せてあげたいと思った。また、景元寺の大きな2本のシイノキは一見の価値がある。コースをすこしかえればPRには良いのではないか。大宮の浄化センター、合併記念見沼公園は良い施設でありPRした方がよい。(藤掛)

(3) 結果

- ① 意見を踏まえて2つの新規コース案、既存コースの修正を検討する。
- ② 埼玉県に2本の松の伐採理由等を確認し、今後の管理についての要望を伝える。

3) 見沼たんぼ写真コンクールの審査について

(1) 説明 (事務局)

- ① 審査を8月27日の運営会議と同日に行いたい旨を説明。
- ② 写真の保護を考え、写真展示の際に会場での待機をお願いしたい旨を説明。
- ③ 写真コンクール審査会設置要綱(案)について説明。
- ④ 写真コンクールの周知のためのチラシ作成について説明。
- ⑤ 「著作権は市に帰属する」という表現には市民から意見があり、「使用権は市に帰属する」と修正した。
- ⑥ サイズは「四つ切り」から「四つ切り程度」に修正した。

(2) 質疑

- ① 公民館をPRの場に使う予定はあるか。(中村)

→そのように考えている。(事務局)

② 各団体でチラシを配る場合には頂けるのか。(島田)

→本日は各団体用に10部用意したが、必要があればさらに用意する。

③ 自治会を使って、回覧板、掲示板を使えばよい。(藤木)

④ 見沼たんぼの市民ネットのメンバーも出せるのであれば、みんな出せばよいのではないかと。(村上)

⑤ 市民活動は、このメンバーが色々な活動をしているのだからその風景を出すと良いのではないかと。活動はここにそろっていると思う(藤原)

⑥ 応募が少ないのはPR不足だと思うので、各団体が活動の時に配れば100枚200枚は簡単に配ることができる。(島田)

⑦ 写真の出来不出来の専門的な審査員は必要か。この中にも専門家がいないのではないかと。(藤原)

⑧ どちらがよいかという場合の決め手は自分たちでは難しいのではないかと。専門家に入っていた方がよい。(島田)

⑨ 来てくれるかは分からないが、さいたま市にも専門家も大勢いると思う。(藤掛)

⑩ このメンバーだけで決めるのは良くないと思う。(猪瀬)

(2) 結果

① 事務局で意見を踏まえてPR方法、審査方法について判断する。

4. 見沼たんぼのホームページ登録団体活動報告

① 大宮河川愛護会

② NPO法人 カンゾウを育てる会

5. 閉会

なお、次回、平成20年度第2回運営会議は、平成20年8月27日(水) コムナーレ9階第15集会室にて開催予定。